

令和5年8月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な みのり の さと おお くさ の 野

校区の皆さん 校区内一斉清掃 お疲れ様でした！ (8月6日：日)

この日、一番早くから清掃活動を行っていたのは万才区。山の端からまだ太陽が出てしまわない6時開



万才区:いい雰囲気の親子でした！

始でした。「暑いから涼しいうちに！」とはいいいながらも、皆さん早起きです。

そんな中に、左の写真のように、お父さんと一緒に小さい子も一緒に頑張ってくれていました。

清掃活動の開始時間は、それぞれ



万才区:県道沿いを丁寧に見て

の区で決めていただきました。6時から、6時半から、7時から、そして8時からと区の事情できめていた



長谷区:集めたゴミを集積所へ

きましたが、とにかく暑い日が続いています。この日私は、起きた時に汗びっしょりかいていて水で濡らしたタオルで体を



辺田区:魚を見ているのではありません！

拭いてから取材に出かけました。猛暑日が続いて、前日の嬉野市の気温は38.4度と新聞に載っていました。それが体温だと、頭を冷やして寝て、唸っているところです。みなさん、くれぐれも熱中症にならない



南下区:ほぼみなさん終了？

ように注意してお過ごしてください。

少しでも早く涼しくなると願っています。



南上区:ゴミの袋を持って、いざ集積所へ！

「大草野お宝48」を持ってレッツ探訪！

第2回目の収録 8月5日：土曜日（ホテル人工池、株式会社香田陶土）



日陰があってよかった！

猛暑日が続く中、この日も朝早くから肌を焦がすような陽射しでした。今回の「大草野お宝48」の探訪先は、当コミュニティの「蛍の里再生実行委員会」が独自の事業として取り組んできたホテル人工池と、大草野校区内に10軒操業している陶土工場の中でガイドブックの記載によれば創業年数が一番長い株式会社香田陶土を訪問しました。

ホテル人工池では、とにかく暑いので日陰に入り



黒で統一、ダンディな香田社長！

ながら、実行委員会の一ノ瀬会長から、蛍の再生を始めた時の苦労話などを聞きました。

香田陶土では、陶土を作る過程の話や、陶土の品質が複数あることなどを聞いて、48ガールズはたいへん興味深そうでした。今回で2回目の収録になりましたが、はがくれテレビさんによると、48ガールズが撮影に慣れてくれて、順調に撮影できたと話しておられました。さて、次はどこの収録を願いますでしょうか？ 楽しみにお待ちしております。

防災広場 今年度3回目の除草作業！ 7月29日：土曜日 8:30～

人の体温より気温が上がる、という天気予報が出る中でこの日の作業は行いました。ですから、いつもより休憩の間隔も短くして、水分補給もたくさん用意して、私たちの仲間から救急搬送が出ないように、細心の注意をしながらの作業になりました。



今回は、ホテル人工池と学校グラウンドの外側法面まで除草作業をしましたので、終わるのがお昼になりましたが、全員、最後まで無事に作業が終了しました。体力には自信がある私も、この日の暑さにはずいぶん体力を消耗しました。皆さんも暑い中での作業は、十分ご注意ください！ 最近またあちこちでイノシシが暴れた跡を目にしますが、防災広場にも一部に掘り返した跡がありました。イノシシとの戦いは本当に終わりがなくて、厄介ですね。みなさん、あきらめずに、頑張りましょう！

梅雨明け以後の気温は、明らかに異常です。自分の体力の低下もあってかも知れませんが、直射日光が身体に当たったとき、気持ちはその場からの逃避に向かっています。

県内一周駅伝に出場していた三〇代の頃は、みゆき公園にあまり人がいないときは、カンカン照りの中、上半身裸で一時間程度走り回っていましたし、走ることに対する抵抗感もまったくありませんでした。もちろん、まだ若かったその当時と今を比べることそのものがおかしいでしょうが、自分の心や身体の変化を素直に受け入れることの寂しさと難しさをあらためて感じています。

老いるとは生きることの厳しさを一身に引き受けることだ。生きる基盤が揺らぐことで、あまりにも当然で、あまりにも平凡な、生きるために備わった力や機能を意に反して手放していくこともある。『という一文を見つければ、さらに意気消沈してしまいます。』

この言葉にあるような事実が始まっているいま、私自身は、それと向き合う覚悟がまだできていません。割り切つて老境を楽しんでおられる方をとても羨ましく思います。きっと老いの自覚も覚悟も持つておられるのでしょね。

《編集後記》
老いの自覚